

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： 次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点

代表者名： 尾池 和夫

所属機関名： 京都大学

コメント

本提案は、医学と他分野、医学と企業の融合領域として、概ね 10 年～15 年後にイノベーションを起こし、革新的な技術開発並びに新産業の創出などが期待されるものと評価された。

しかしながら、委員からは、以下のようなコメントが寄せられている。

- ・創薬と医学が融合するのは当然で新たな融合とは言えない。
- ・明確な目標とアプローチ。研究スコープ（臨床目的と注目物質・機序の組合せ）の幅を可能な範囲で広げ、拠点としての競争力を増大してほしい。
- ・一つの企業等で行う研究開発としては良くまとまっているが、大学のベクトルの異なる研究をどう方向づけるのかが問題。また、年次計画がはっきりしない。例えば、提案が終わったグループは順次入れ変わって行くのか？
- ・ターゲットは明確であるが製薬会社が通常に行う共同研究の枠をこえていない。どこに技術革新があるのか不明確。

上述の観点も含め、1 年目はミッションステートメントの実現可能性についてさらに調査・検討することとし、その結果を踏まえ、拠点化構想等（企業との協同体制を含む）の改善を行うこと。